

プレスリリース
各位

2021年11月25日
株式会社 Veritas In Silico

塩野義製薬とのmRNA 標的低分子医薬品創製に関する 共同創薬研究契約の締結について

株式会社 Veritas In Silico(本社:東京都品川区、代表取締役社長:中村慎吾、以下「Veritas In Silico」)は、このたび、塩野義製薬株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役社長:手代木功、以下「塩野義製薬」)と、メッセンジャーRNA(mRNA)を標的とする画期的な低分子医薬品の創製を目的とした共同創薬研究契約を締結しましたので、お知らせいたします。

Veritas In Silico は、従来のタンパク質標的にかわり、mRNA 上の部分構造を標的に低分子医薬品の創製を可能とする創薬プラットフォーム「ibVIS[®]」を有し、2018年より製薬会社と共同で創薬研究を実施しています。創薬型製薬企業として培ってきた低分子創薬技術を軸に、アンメットメディカルニーズに応える画期的な新薬創製を目指す塩野義製薬の創薬研究ニーズに、Veritas In Silico の ibVIS[®]プラットフォームが適合することから、今回の共同創薬研究契約の締結につながりました。

本共同創薬研究では、塩野義製薬が重点研究領域と定める感染症および精神・神経系疾患に関連する複数の遺伝子を創薬対象として、対応する mRNA 上の標的構造の同定から、標的構造に作用して動物モデルで薬効を示す開発化合物の取得に至る、複数年の創薬研究を両社共同で実施します。塩野義製薬は、本創薬研究で得られる開発化合物の全世界における開発・製造・流通販売に係る独占的な交渉権を取得します。Veritas In Silico は、本契約の締結に伴い一時金、研究費を受領します。さらに、開発化合物の開発および商業化を行う場合、その開発および商業化の進捗に応じたマイルストーンとして、最大総額 850 億円を受領する可能性があります。加えて、販売額に応じたロイヤリティを受領します。

Veritas In Silico 代表取締役社長の中村は、「低分子創薬で高い技術力と確固たる実績を有する塩野義製薬と、mRNA 標的低分子創薬に取り組めることを大変嬉しく思います。当社は、本創薬分野のリーディングカンパニーとして培った実績を存分に活かし、塩野義製薬とともに、多くの患者様のアンメットメディカルニーズに応える新薬を一日も早くお届けできるよう、本共同創薬研究に取り組んでまいります。」と述べています。

塩野義製薬株式会社について

塩野義製薬は、中期経営計画「Shionogi Transformation Strategy 2030 (STS2030)」において新たな価値創造に向けた「R&D 戦略」を策定し、強みである感染症、精神・神経領域および社会的ニーズの大きい疾患領域に対する革新的なソリューションを創出するとともに、新たなモダリティの拡充に挑戦し、多様な治療オプションの提供に向けて取り組んでいます。塩野義製薬の詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.shionogi.com/jp/ja/>

株式会社 Veritas In Silico について

Veritas In Silico は、創薬の新領域を切り拓くパスファインダーとして、mRNA 標的 low 分子医薬および核酸医薬の創薬プラットフォーム「ibVIS[®]」を構築し、国内製薬各社と共同創薬研究を実施しています。Veritas In Silico は、mRNA を標的とする次世代創薬で、希望に満ちたあたたかい社会の実現を目指します。Veritas In Silico の詳細はホームページをご覧ください。<https://www.veritasinsilico.com/>

以上

＜本件に関するお問い合わせ先＞

■株式会社 Veritas In Silico 管理部 総務・広報課
03-6421-7537/070-2638-1775